

New Hope

札幌ペンテコステ教会ニュース
2026年7月

2025年の年間訪日外国人客数は過去最多の4,628万3,600人となり、史上初めて4,000万人を突破したそうです。過去最高だった2024年の約3,687万人から大幅増となりました。統計を見ずとも、札幌でも明らかに訪日客の方が増えたことを実感しています。このNewHopeを書いた日にも、訪日外国人のファミリーから写真撮影を頼まれました。

札幌で有名な観光地の一つに、羊が丘展望台、という場所があります。ここには、北海道大学の前身である札幌農学校の教頭も務め、札幌を去る時に「ボーイズ・ビー・アンビシャス」という言葉を残したことで知られるクラーク博士の銅像が建てられています。また「羊が丘」という名前のように、広い草原に「羊」が放されていて、見るものを楽しませてくれます。この羊、現在の日本では約2万5000頭が飼われているそうですが、そのうちの約半数が北海道で飼育されています。食文化にもなっていますし、他の地域と比較しても、北海道では「羊」という動物が少しかけがえのない存在なのです。

愛される存在

聖書の中にも、この「羊」という動物が度々登場します。ある時イエス様がこの

ようなたとえ話をされました。あるところに100匹の羊を飼っている人がいました。この羊飼いにあって、この羊の1匹1匹がかけがえのない存在でした。愛する存在だったのです。ところがこのうちの1匹が群れから離れて行動しはじめ、ついにいなくなりました。飼主から離れて迷子になってしまったのです。迷子になった羊を探すため、この羊飼いは迷子になっていない99匹を残して、1匹を探しに出かけていきます。そうしてついに迷子の羊を見つけ、大喜びで帰っていくというお話です。

このたとえ話を身近なものに置き換えてみるとわかりやすいかもしれません。自分がとても大切にしているものをなくした時、あなたはどうかされるでしょうか。例えばお子さんがいる方でしたら、一緒にいると思った子どもがいつの間にかいなくなってしまうと…。見つかるまで命がけで探し回らないでしょうか。そして見つけ出すと子どもを抱きしめ、安心と喜びとで心が満ち溢れるのではないのでしょうか。

わたしはよい羊飼いである。よい羊飼いは羊のために命を捨てる。

(ヨハネによる福音書第10章11節)

この例えに登場する羊を飼っている人とは、イエス様のことを表しています。羊とは、私たちのことです。イエス様は私たち一人一人のことをかけがえのない存在として、また愛する存在として慕われています。羊がその飼主によって道を示されていくように、私たちがイエス様とともに歩むとき、私たちは歩むべき道を教えられ、また守られ、励まされます。イエス様の大きな愛の中を歩むことができます。また迷子になった1匹の

羊のように、まだイエス様を知らないで歩んでいる方であったとしても、イエス様はあなたをも愛して下さっていて、あなたとともに歩みたいと思われています。イエス様にとって、あなたは这个世界でたった一人の存在だからです。まだイエス様と出会っていない方が出会うことができるように、またもうすでに出会っていらっしゃるなら、これからもイエス様と歩み続けることができますように、今月もお祈りしています。

祈ってみましょう

イエス様がわたしを愛し、ともに歩みたいと思われていることを知りました。もっとイエス様のことを知りたいです。わたしが歩むべき道を教えてください。

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南 14 条西 18 丁目 4-5

(TEL&FAX 011-561-5072)

<http://sapporopk.com/>

教会の定期集会のご案内

聖日礼拝: 毎週日曜 10:30~12:00 頃 祈禱会: 毎月第 3 木曜 19:00~20:30 頃

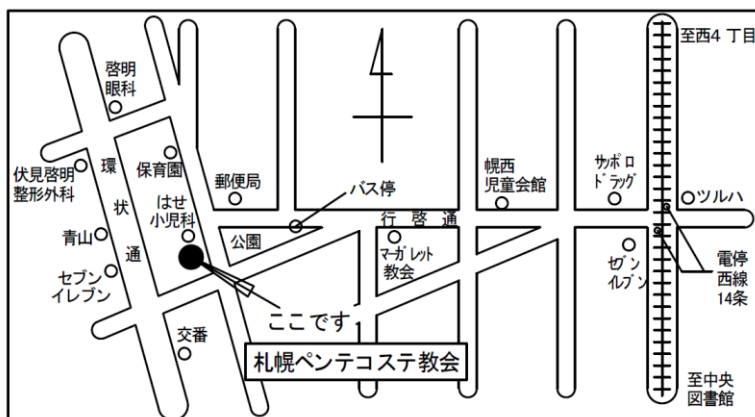
札幌ペンテコステ教会 <http://sapporopk.com> (右のQRコードからも)

NewHope のバックナンバー、礼拝の Youtube 動画などもあります。

日本聖書協会 <https://www.bible.or.jp>

ともに聴く聖書 <https://www.prsi.org/ja/app> (アプリも有)

ドラマ「The CHOSEN」 <https://watch.thechosen.tv>



【教会へのアクセス】

市電にて西線 14 条下車

JR 札幌駅前バス停から

JR 北海道バス 3 線[51]にて
南 14 条西 17 丁目下車

駐車スペース有